

4. 根室沿岸の基本理念、基本方針

4.1 基本理念

根室沿岸における海岸保全の方向性を検討するにあたり、沿岸域への対応及びその保全についての「基本理念」を以下のように設定する。

＜基本理念＞

根室沿岸は北海道東部に位置し、知床国立公園、野付風蓮道立自然公園を有するほか貴重な動植物が数多く生息・生育する優れた自然環境に恵まれた沿岸である。

北部の知床半島の海岸線は岩礁、知床半島基部から根室半島基部までは砂浜がなだらかに続き、根室半島は岩礁、海岸段丘からなる。特に知床半島北部は豊かで貴重な自然および景観が残されているほか、沿岸中央部には国内最大の鉤状分岐砂嘴である野付半島や広大な砂州である走古丹・春国岱がある。

海域には藻場・干潟が分布し、特に干潟には数多くの野鳥が飛来しており全国的に見ても野鳥の宝庫となっている。

この自然とのふれあいを求めて、毎年道内外から多くの観光客が訪れており、沿岸の持つ優れた自然環境と景観は貴重な観光資源でもある。

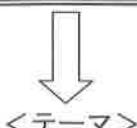
藻場は知床半島ではコンブ漁場として、野付湾では夏の風物詩となっている打瀬船によるホッカイシマエビ漁の漁場として、根室半島ではウニの漁場として利用されており、地域漁業にとって重要な役割を果たしている。

また、沿岸では豊かな自然環境を利用したシーカヤック、ダイビング等の海洋性レクリエーションが行われているほか、干潟では地域住民が潮干狩りを楽しんでいる姿が見られる。

このように、沿岸は人々にとって、豊かな自然を享受できる場、産業の場、レクレーションの場として貴重な空間となっている。

しかし、当沿岸は現在も波浪による越波被害が後を絶たないほか、土砂収支の不均衡によって海岸侵食が進み、貴重な砂浜がだんだん失われつつある。

根室沿岸のあるべき姿とは、海岸侵食、波浪等の自然災害から人々の安全を確保し、優れた自然環境、景観の保全に努め、さらには、地域産業の振興にもつながるような海岸の適正利用を図る、防護、環境、利用の調和がとれた海岸であると考える。



＜テーマ＞

豊かな自然環境と地域産業が調和した

安全で良好な海辺空間の創出

～ふれあい・やすらぎ・根室沿岸～

4.2 基本方針

前項の基本理念及びテーマをうけ、保全に関する基本方針を以下のように設定する。

＜基本方針＞

◎安心して暮らせる海岸づくり

波浪による越波、浸水被害から地域の人々の生活を守り安心して暮らせる海岸づくりを推進する。

◎国土を守る海岸づくり

海岸侵食から国土を守るために、施設の整備と併せ、土砂の広域的・総合的な管理を行い、砂浜の保全と回復を推進する。

◎優れた自然環境の保全と共生する海岸づくり

貴重な動植物が生息・生育する藻場・干潟などの自然環境や美しい景観を保全するとともに、施設の整備に当たってはそれらが損なわれることのないよう十分配慮する。

◎地域産業を支える海岸づくり

漁業、観光業など地域産業の発展に寄与する海岸づくりを推進する。

◎海とふれあいやすらげる海岸づくり

人々の多様なニーズに対応し、高齢者・障害者を含め誰もが親しみふれあえる場としての海岸づくりを推進する